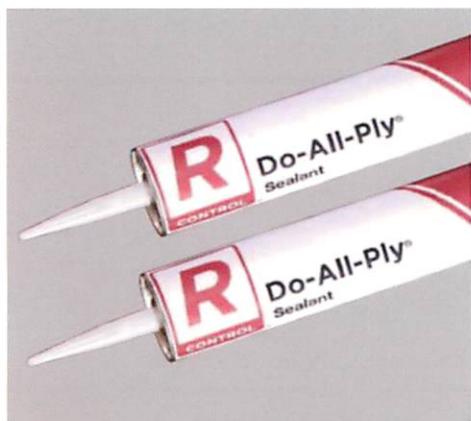


防蟻気密シール剤

ドゥ・オール・プライ
Do-All-Ply[®]

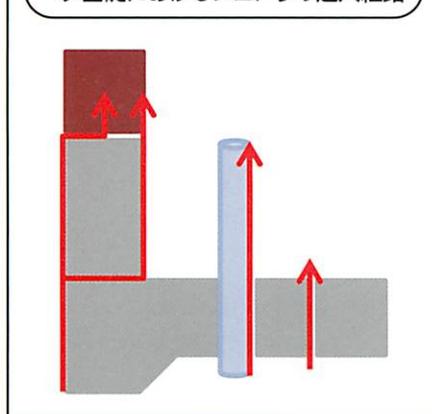
■内容量:828ml/1本 ■出荷単位:12本/ケース



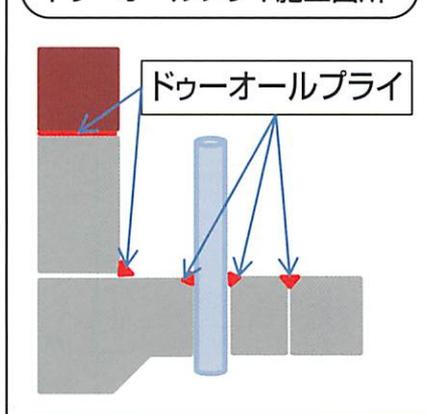
隙間処理のプロフェッショナル

人体や環境保護により従来の毒物による土壌処理や防蟻・防腐処理ができなくなりました。しかし、建築物を守り、快適に安心して暮らすには、雨と湿気の多い日本で建物を守ることはできません。長年AFM[®]社は白蟻に対する実験を続けてきた結果、水に強く、経年変化による劣化が少なく、防蟻・気密効果を発揮するDo-All-Ply[®]を開発しました。防蟻断熱材の目地、貫通配管廻り、コンクリート打ち継ぎ部の防蟻措置。土台の防蟻・気密措置にご使用いただけます。

ベタ基礎におけるシロアリの進入経路



ドゥオールプライ施工箇所



— 用途 —

防蟻断熱材の目地

貫通配管廻りの防蟻措置

コンクリート打ち継ぎ部の防蟻処置

土台の防蟻・気密措置



基礎断熱材の突合せ部



基礎断熱材と土台の取合い部



基礎断熱材と捨コンの取合い部

知らなかった!ではすまされない隙間処理!!

基礎断熱材に防蟻性のある断熱材を使用したとしても、隙間＝部材の接合部に防蟻処理をしていないと、標的にされた建物に小さな蟻はやすやすと蟻道を作って進入してきます。私たちの目には小さな隙間でも彼らには十分な大きさです。時には毒物処理をしている木材の継目からでも進入する事があります。AFM[®]防蟻断熱建材以外の様々な建材(発泡系断熱材可)の接合部にもDo-ALL-Ply[®]は白蟻の進入を防止する働きをします。



断熱材の隙間処理をしないと接合部を蟻道にしてシロアリが上に置いた木材を目指して上がってきます。(実験写真より)

使用方法

■準備する道具

- ・大型コーキングガン 900ml用
- ・カッター
- ・針金(15センチ位)

■使用方法

- ①カートリッジのノズルを目地幅に合わせてカッターでカット。
- ②ノズル内部の防湿膜を針金等で突っついて破る。
- ③カートリッジを底部からセットし、引き金を引いて充填を開始します。

基礎断熱工法(同時打込み)での施工要領書

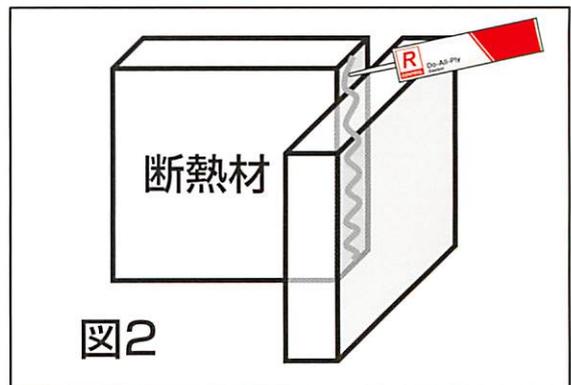
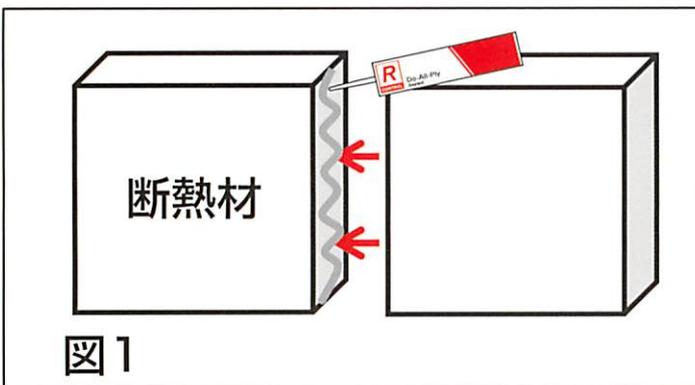
上記の使用方法①～③を完了しておいて下さい。

■基礎断熱材の鋼製(木製)型枠への建て込み時

断熱材の継ぎ目(図1)・突合せ部(図2)へドゥーオールプライを塗布します(図1参考)。

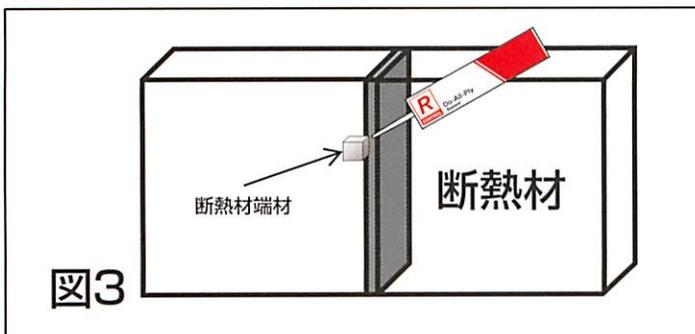
小口面に塗りムラ・隙間が出ないようにします。(特に基礎立上りコンクリート側へははみ出るくらい)

POINT シロアリが継ぎ目の下から登れないように隙間を埋める



■コンクリート同時打込み⇒基礎型枠脱却後

断熱材の継ぎ目・突合せ部に隙間がある場合はDo-All-Plyを塗布し、断熱材の端材等で擦り込むように隙間を埋める 参照: 図3



<Do-All-Ply®の取扱い注意事項>

- ・取扱い注意①: 可燃性です。火気や液化塩素・硝酸など強い酸化剤に近づけないで下さい。
- ・取扱い注意②: 水濡れ注意です。容器は硬質紙で出来ているために水に濡れるとガンで押出せなくなります。
- ・内容: Hexane・Naptha・Paraffinを含有しており、直接摂取しない限り人体への影響は少ないですが換気を充分に行なって作業して下さい。防蟻剤は揮発しません。
- ・容量: 828mlコーキングガンを使用して約10mmの太さで使用した場合に約15㎡塗布できます。
- ・耐水性: 湿気や水に溶解しません。水をはじきますので作業時は表面が乾いている事を確認の上で使用ください。
- ・防蟻剤: AFM®社 防蟻断熱材パフォームガードと同様に自然界に存在する鉱物を利用し、人体への毒性は食塩の半分程度です。米国環境保護局(EPA)で半永久的効果と安全性が承認されています。

お問合せ 東北資材工業 株式会社

■建材事業部 矢巾事業所■

〒028-3615 岩手県紫波郡矢巾町南矢巾6-145
TEL 019-697-2711 FAX 019-697-2710
URL <http://www.tsk-kenzai.com/>

■仙台出張所■

〒985-0001 宮城県塩釜市新浜町1-17-9
TEL 022-361-8820 FAX 022-364-8407

